

平成 28 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

様々な背景を持った生徒が、社会の有為な人材となるような教育活動を実践する学校をめざす。

- 1 基礎学力をしっかりと身に付け、自信を持って「夢」や「志」を開拓できる生徒を育成する。
- 2 社会を生き抜く規範意識とマナーを持ち、社会に貢献できる多様な人材を育成する。
- 3 教職員が切磋琢磨しお互いに支え合い、生徒や保護者、地域から信頼される学びの場をめざす。

2 中期的目標

1 確かな学力の育成

(1) 高等学校学習指導要領の趣旨を踏まえ、生徒に達成感を与える「わかる授業、充実した授業」をめざした授業改善に取り組む。

ア コアな授業での基礎学力の充実・定着を図ることを主眼に、生徒の理解度を日々の小テストや復習などで検証しながら、生徒の実態に応じた教材の開発・工夫を絶えず行う。また本校独自の「桜学」を活用した授業改善についてもより一層研究をすすめる。

イ 授業力向上等検討委員会を核とし、教員相互の公開授業や研究授業に基づいた研修会を実施する。また「学校情報委員会」を中心に I C T の効果的な活用や授業の研究・改善について組織的に取り組む。

※生徒向け学校教育自己診断における授業満足度の肯定率 80%をめざす。(平成 27 年度 84.1%)

2 生徒の達成感や自尊感情を育み、夢の実現に向けた支援体制の確立

(1) 社会性と規範意識の確立と自尊感情の醸成

生徒が自らの行動を律することのできる人材となるよう、基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成に努める。現在の挨拶運動を継続して実施する。

※生徒向け学校教育自己診断の規範意識に関する項目における肯定率 80%をめざす。(平成 27 年度 79.4%)

(2) キャリア教育の充実と進路保障

ア 進路に対する動機付けが出来るよう、ハローワークやキャリアブリッジなどの外部機関と連携し、1 年次から計画的にキャリア教育を実施する。また、卒業時の正規雇用希望者の合格率 80%以上をめざす。(平成 27 年度 83.3%)

※生徒向け学校教育自己診断の進路指導に関する項目における肯定率 80%をめざす。(平成 27 年度 86.4%)

イ 就職・進学につながる様に担当教科が指導を行い、各種検定の合格者の総計は 7 名を目標とする。(平成 27 年度 5 名)

(3) 行事や生徒会活動、部活動を通じて集団の中で協力しながら活動できる能力を支援・育成する。

各種行事の出席率は 65%を目標とする。また、部活動加入率は 50%を目標とする。(平成 27 年度 行事出席率 70% 部活動加入率 50%)

(4) 在籍生徒の適正管理と新入生の進級率増加

保護者や関係機関との連携を強化するとともに、「生徒支援委員会」を核とし、支援や指導が必要な生徒に適切な支援・指導を行うことができる体制を推進する。また、生徒情報の共有を確かなものにし、生徒理解を深め、(在籍のみの生徒を省く) 中途退学や留年の防止に努める。

※ 新入生の進級率 70%以上を目標とする。(平成 27 年度 72%)

3 開かれた学校運営と地域連携

(1) 全教職員が学校経営に参画しているとの自覚を持ち、組織の向上のために忌憚のない意見交換が出来るよう環境を整える。

(2) 地域連携を進め、地域に理解され、地域から信頼される学校をめざす。

ア 豊中市立各中学校を中心に中学校訪問や中高連絡会を行い、連携を進める。

イ 豊中市役所、豊中警察署、少年サポートセンター、子ども家庭センター、豊中保健所等の外部機関との連携を行い生徒の健全育成に役立てる。

ウ 学校協議会と振興会の活性化を促進し、積極的な意見を述べてもらう。

エ H P の充実を図る。

※ 教職員向け学校教育自己診断の地域連携に関する項目における肯定率 80%をめざす。(平成 27 年度 57%)

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 29 年 1 月実施分]	学校協議会からの意見
<p>【学習指導等】</p> <p>・「わかる授業、充実した授業」の実現に向け、公開授業週間を年間 2 回設定し、相互の授業見学と研究協議を実施した。授業の工夫や学力の伸長について、教員は 92%が肯定的な回答をしているが、生徒の肯定的な回答は 81%であった。この差を埋めるには生徒自身の学習や理解への努力を期待すると共に、原因の分析と改善策の検討が今後の課題である。</p> <p>【生活指導等】</p> <p>・「話を聞いてくれる教員が多い」「気軽に相談できる雰囲気がある」という設問に対し、教員は各々 100%が肯定的な回答をしているが、生徒の肯定的な回答はそれぞれ 82%、72%であった。生徒の評価は決して低いものではないが、今後もきめ細かい対応を継続していきたい。</p> <p>・「生活指導」に対しては、生徒の 81%、保護者の 84%、教員の 100%が肯定的な評価をしている。保護者の記述項目には、落ち着いた学校生活を評価するものが多い。</p> <p>【進路指導】</p> <p>・「進路指導」に対しては、生徒の 80%、教員の 92%が肯定的な評価をしている。今後も更に、生徒のニーズを尊重し、指導の充実に努めていく。</p> <p>【学校運営等】</p> <p>・「准校長のリーダーシップ」については、3 年連続して 100%の教員が肯定的な評価をしている。「教職員の学校運営への積極的参加」及び「教職員間の信頼関係」についても、今年度は 100%の教員が肯定的な評価をしている。</p> <p>・昨年度もっとも評価の低かった「外部への情報発信」については、肯定的評価が 18%向上し 75%になったが、他の設問と比較するとまだ低い。地域の中学校との連携強化や、Web ページの改修等を中心に情報発信の一層の推進を進めていく。</p>	<p>第 1 回 (7 月 13 日)</p> <p>○H28 年度学校教育計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画の中の目標値は、かなり控えめに見積もっているのではないかと。もっと目標を高く掲げて、教育活動のさらなる発展を期待する。 ・チームティーチングや I C T 機器を取り入れて、分かりやすい授業に努めている点は評価できる。 <p>○学校の広報活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊中市内の中学校では、しっかり生徒を見てくれる学校と評価されている。広報活動の範囲を豊中市近辺の中学校にも広げることも検討してほしい。 <p>第 2 回 (10 月 13 日)</p> <p>○学校説明会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生とその保護者は、在校生やその保護者の様子を知りたいと考えているはず。だから、学校の説明や模擬授業だけではなく、卒業生や保護者の話も取り入れてはどうか。 <p>○地域の中学校との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊中市立第四中学校の夜間学級の卒業生が、本校に進学している。ぜひ、夜間学級の様子を理解してもらうために、普段の授業や総合発表会を参観してほしい。 <p>第 3 回 (2 月 17 日)</p> <p>○学校教育自己診断について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5 年間の推移を見ると、教育相談や基礎学力の定着の面で少しずつだが、生徒の評価が下がってきている。この点について、生徒の否定的な意見を拾い上げることができるよう自己診断の形式等を再度検討してほしい。 <p>○定時制の役割の変化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時制に通う生徒の変化がよく分かった。既卒の生徒や年配の方の入学が多いという現状を考えると、潜在的な需要はもっとあるように感じる。来年度はさらに広報活動を強化し、桜塚高校定時制の良さを地域に発信してほしい。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 確かな学力の育成	<p>(1)「わかる授業、充実した授業」をめざした授業改善への取り組み</p> <p>ア・授業力向上等検討委員会と各教科の連携による教材の開発・工夫</p> <p>イ・公開授業と授業アンケートを活用した授業改善の推進</p> <p>ウ・ICTを活用した研究授業による授業改善の推進</p>	<p>ア・授業力向上等検討委員会と各教科の連携で、生徒の実態に応じた教材の作成をする。</p> <p>・「桜学検討委員会」にて、本校独自の進路実現に向けた教科横断型の体験的な要素を取り入れた授業モデルを作成する。</p> <p>イ・授業力向上等検討委員会で企画した公開授業（6月、11月）に合わせ、教員相互の授業見学週間を設定し、積極的な参加を促し、他の授業への助言を求める。</p> <p>・第2回目の教員相互の授業見学後には、授業改善のために全員参加で研修会を実施する。</p> <p>・授業アンケート（7月、12月）は1回目を課題把握、2回目を成果検証と位置づけ授業改善を推進する。</p> <p>ウ・「学校情報委員会」が核となり、ICTを使った効果的な授業方法を検討し、その公開授業を実施する。</p>	<p>全て学校教育自己診断の数値（ ）はH27の実績</p> <p>ア・生徒の理解度の肯定率80%以上(84%)</p> <p>イ・全教員による1回以上の授業見学の推進。</p> <p>・教員向けの授業における工夫項目の肯定率90%以上(100%)</p> <p>ウ・生徒向けの授業項目の肯定率80%以上(86%)</p>	<p>ア・各教科で生徒の理解度に対応した教材を作成し、可能な限り少人数展開の授業を実施した。理科では実験を中心にした授業展開を行った。授業に対する生徒の肯定的評価は80%であった。(○)</p> <p>イ・11月の授業見学後の研修会では、4つの班に別れて研究授業の評価と改善について協議した。今回も全員が授業を見学できるよう、研修対象授業をビデオで撮影した。授業の工夫に対する教員の肯定的評価は100%であった。(◎)</p> <p>・授業アンケートは、管理職の授業観察と共に各教員の授業改善の指標としている。(○)</p> <p>ウ・「学校情報委員会」が中心となり、校内のICT環境の整備を進めた。多くの教員が、日常的にICTを授業の中に活用し、生徒の興味を引きだし、理解を高める工夫をしている。授業の工夫に対する生徒の肯定的評価は82%であった。(○)</p>
2 生徒の達成感や自尊感情を育み、夢の実現に向けた支援体制の確立	<p>(1) 社会性と規範意識の確立と自尊感情の醸成</p> <p>(2) キャリア教育の充実と進路保障</p> <p>(3) 行事や生徒会活動、部活動を通じて集団の中で調和しながら活動できる能力を育成する。</p> <p>(4) 在籍生徒の適正管理と新入生の進級率増加</p>	<p>(1)・遅刻しない、欠席の際には事前に担任に連絡する、人の話を静かに聞く、言葉使いに気をつける等、社会性と規範意識の確立をめざす。登校時の教員との挨拶運動を継続する。</p> <p>(2)・1年次から計画的に進路指導部と学年が主体となりキャリア教育を実践する。</p> <p>・外部講師の講演を積極的に実施し、進路に対して希望の持てる動機付けを行う。</p> <p>・各種の資格試験に挑戦し合格することで、生徒に自尊感情や自己肯定感を獲得させ進路指導につなげる。</p> <p>(3)・部活動に参加し、仲間意識を育むことにより、生徒に達成感や自尊感情を感じさせる。</p> <p>・生徒会活動に参加し、地域と交流することで、本校への帰属意識や連帯感を高める。</p> <p>・各種学校行事への参加を促し、仲間意識と帰属意識を高める。</p> <p>(4)・生徒との面談、保護者との対話、家庭訪問、電話連絡などを通じ、一人ひとりに対してきめ細かく対応する。</p> <p>・「生徒支援委員会」を核とした生徒の支援に努める。</p>	<p>(1)・生徒向けの規範意識の項目の肯定率80%以上(79%)</p> <p>(2)・生徒向けの進路指導の項目の肯定率80%以上(86%)</p> <p>・卒業時の正規雇用希望者の合格率80%以上(85%)</p> <p>・各種の資格試験の合格者数の目標を7名以上(5名)</p> <p>(3)・部活動加入率50%以上(50%)</p> <p>・各種行事への参加率65%以上(70%)</p> <p>(4)・新入生の進級率70%以上を目標とする。(72%)</p> <p>・生徒向けの本校に対する満足度の項目の肯定率80%以上(90%)</p>	<p>(1)・学校見学会や日常の授業見学でも落ち着いた雰囲気の中で授業が行われていることに対する評価が高い。登校時に教員と生徒自治会役員が挨拶運動を行った。該当する項目に対する、教員肯定率は100%、生徒は81%であった。(○)</p> <p>(2)・キャリア教育は1年次から「桜学」やLHRでNPO法人等と連携して展開している。また、ハローワークとも連携し就職セミナーを実施した。</p> <p>・大学進学者は4名であった。</p> <p>・就職内定者は6名であった。学校斡旋の正規雇用希望者の合格率は86%であった。(○)</p> <p>・進路指導に対する生徒の肯定率は80%であった。(○)</p> <p>・英検には1名、数検には4名が合格した。(△)</p> <p>(3)・部活動加入率は55% 全国大会は柔道部が団体戦に1名が出場した(○)</p> <p>・各種行事への参加率は70%。生徒秋季発表大会では4名が奨励賞を受賞し、大阪教育大主催のポスター発表でも3名の生徒が表彰された(○)</p> <p>(4)・新入生の進級率は68%であった。(△)</p> <p>・「生徒支援委員会」は支援コーディネータを中心に組織的に生徒対応にあたっている。(○)</p> <p>・89%の生徒が、本校に入学してよかったと考えている。(○)</p>
3 開かれた学校運営と地域連携	<p>(1) 全教職員が学校経営に参画しているとの自覚を持ち、忌憚のない意見交換が出来るよう環境を整える。</p> <p>(2) 地域連携を進め、地域に理解され、地域から信頼される学校をめざす。</p>	<p>(1)・職員会議で自らの考えをはっきりと述べられるように教職員に働きかける。</p> <p>・情報共有に「職員連絡会」を極力短時間で効率的に使う。</p> <p>・必要に応じて委員会・分掌の再編をする。</p> <p>・教員には出来るだけ任せ、責任感を育てる。</p> <p>・教職員の防災・防犯に関する知識の再確認と研修を実施する。</p> <p>(2)</p> <p>ア・豊中市立各中学校を中心に中学校訪問や中高連絡会を実施し連携を進める。</p> <p>イ・豊中市役所、豊中警察署、豊中保健所、子ども家庭センター等の外部機関との連携を行い生徒の健全育成に役立てる。</p> <p>ウ・学校協議会と振興会の活性化を促進し、積極的な意見を述べてもらう。</p> <p>エ・HPの充実を図る。</p>	<p>(1)・教員向けの学校運営に関する項目の肯定率90%以上(96%)</p> <p>・教職員向けの防災・防犯に関する項目の肯定率を75%以上(71%)</p> <p>(2)・中学校訪問と中高連絡会を2回実施し本校の実情を知らせる。</p> <p>・教員向けの地域連携に関する項目の肯定率65%以上(57%)</p>	<p>(1)・「職員連絡会」を効率的に行った。(○)</p> <p>・消防署員による教員向けの防災研修を行った。(○)</p> <p>・学校運営に対しては100%の教員が肯定的な評価をしている(◎)</p> <p>・防災防犯に対しては、92%の教員が肯定的な評価をしている。(◎)</p> <p>(2)</p> <p>ア・中学校訪問と中高連絡会をともに2回実施し、情報交換を行った。(○)</p> <p>・豊中市内の18の中学校すべてを訪問し、進学相談会の案内を行った。(○)</p> <p>イ・全国大会出場の手は豊中市長を表敬訪問しWebページに掲載された。豊中市と連携し、薬物乱用防止や主権者教育の授業を行った。(○)</p> <p>ウ・学校協議会は授業や文化祭を見学し、改善に対する意見を交換した。(○)</p> <p>エ・HPの更新は来年度のシステム更新に合わせて実施する。(△)</p> <p>・地域連携に対して、教員の75%が肯定的な評価をしている。(○)</p>